



さんよう広場

平成29年1月 第34号



あけまして

おめでとうございます



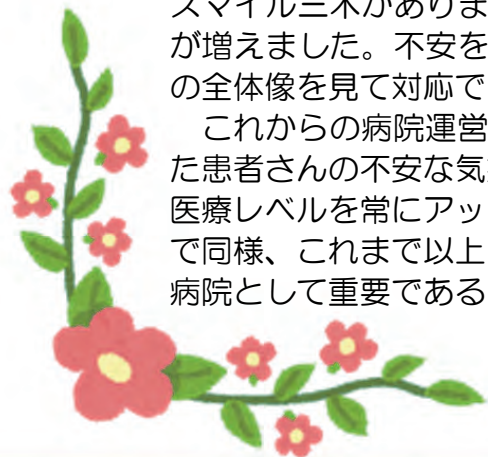
この三木山陽病院は 1996 年、平成 8 年にスタートして開設 20 年を迎えることが出来ました。当初は内科だけでスタートしましたが、今では整形外科、外科、眼科、皮膚科、泌尿器科と対応できるようになりました。

この 20 年、病院は順調に成長してきたと思っています。その要因として 3 つ挙げたいと思います。1 つは何といても医師、看護師はじめすべての部署において、人に恵まれたことです。優れたリーダーと患者さんを思う素晴らしいスタッフによってこの病院は作られてきたと思います。2 つ目は患者さん優先で時間外診療を断らないという病院全体の姿勢が、患者さん、そのご家族、近隣の施設や病院そして医師会の先生方、たくさんの人とのつながりを持ちながら少しずつ地域の信頼を得ることが出来てきたことです。3 つ目はちゃんとした病院の形をつくることができたことです。2006 年新しい病院の建築により、それまで医療は見かけより中身とやせ我慢してきましたが、病院が新しくなったことで外来患者数が明らかに増加しました。何よりも若い人、本当の病気の人が増えました。一方この新病院完成を待って病院機能評価の受審を行い、その後も 2 回の審査を受けました。この受審によって病院内のほぼすべての領域にわたって、病院として組織として少なくとも後ろ指を指されない、形あるものになったと思っています。

多くの入院患者さんは高齢者です。たった一つの病気により生活が一変してしまった患者さん、ご家族への対応も重要です。“医学的治療は終了しました”この言葉は患者さんにはむなしく響きます。その後の対応も私たちの仕事です。当院には地域包括ケア病床、療養病棟そして介護老人保健施設サンスマイル三木があります。これらにより患者さん、ご家族は居場所の選択肢が増えました。不安を取り除く場所にもなっています。できるだけ患者さんの全体像を見て対応できる病院でありたいと思っています。

これからの病院運営は厳しくなることが予想されます。しかし病気を抱えた患者さんの不安な気持ちはいつの時代も同じです。三木山陽病院では医療レベルを常にアップさせる努力は言うまでもありませんが、これまで同様、これまで以上に優しい心をもってみんなが対応していくことが病院として重要であると思っています。

病院長 森田 須美春



電子カルテ導入について

三木山陽病院では、医療サービスの向上とより安全な医療の提供を目指し、平成 29 年 2 月 1 日より「電子カルテ」を導入します。

電子カルテによって、従来よりも院内の情報共有や伝達がスムーズになり、患者様の診療内容が確認しやすくなるために、診療がより効率的になり、医療安全度も向上します。またカルテを運搬する等の人為的作業が減ることにより、患者様の待ち時間の短縮にもつながります。しかし導入直後しばらくは、電子カルテ、紙カルテ両方で対応する必要があるために、受付や診療、会計等でお待たせすることが考えられます。そのために電子カルテの導入による影響を最小限に留めるよう、研修・訓練を重ねながら稼働準備を進めてまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。



X 線装置導入について

当院では、この秋 2 台の X 線装置が新しくなりました。体の輪切りの様な画像を得る CT 装置と血管の画像や消化管の特殊な造影検査に使用する X 線 TV 装置です。この 2 台の X 線診断装置について簡単にお話をさせていただきます。

今回新たに導入しました CT 装置はエリアディテクターという一度により広い範囲を撮影する事のできる検出器を搭載した CT 装置です。今までの当院 CT 装置に比べ、患者さんの息止め時間は半分から 3 分の 1、心臓の検査も数秒しっかり息を止めると終わります。被ばく線量は概ね 3 分の 2 ほどに減らせると考えています。

“より早く、より詳細に、しかもより低被ばくに” を実現した装置です。



心臓の検査や広範囲の造影検査では特に威力を発揮してくれると期待しています。血管の検査などでは造影剤の使用量も減らすことができると考えています。3D 画像や仮想内視鏡といった処理にも対応できるようになりました。また人工関節などの金属の周りにできる“見えない部分”を少なくすることも可能になり情報量の多い画像を得ることができるようになりました。

X 線 TV 装置は幅広い X 線検査が可能な C-アーム型多目的デジタルシステムを導入しておりましたが、今回は平面型検出器を搭載した装置に更新いたしました。従来の機器より X 線透視画像の視認性を向上させ、モードも搭載し被ばく軽減もなされています。

色々な周辺機器も一緒に導入し泌尿器科検査にも VF(嚥下造影)検査にも対応できるようになり、より多種多様な検査・治療に対応できる機器となりました。



新入職者のコメント

今年度も三木山陽病院にたくさんのスタッフを迎えることができました。
フレッシュなスタッフに当院の印象、これからの意気込み…等、編集長がインタビューしました！！

臨床経験豊富な森田院長の助力を得ながら、日々の診療に励むことは、自らの臨床能力を大きく成長させることが出来る貴重な時間であると感じています。またメディカルスタッフの皆様も、常に患者様のことを第一に考えながらテキパキとチーム医療に加わっているので、とても円滑に仕事が捗ります。これからも日々の診療に貢献しながら、勉強していきたいと思っています。（H28年4月入職 医師）



私は9月から三木山陽病院5階病棟で働かせてもらっています。入職し、あっという間に2ヶ月が過ぎました。急性期の病棟で入退院も多く、とてもとまどう事も多いですが、親切に指導して頂きながら安心して働く事が出来ています。また、優しいスタッフの方ばかりで私生活の相談もさせてもらい感謝しています。病棟には色々な科の患者さんがいます。とても学べる環境だと思うので、たくさん勉強をさせて頂きたいと思っています。よろしくお願いします。（H28年9月入職 看護師）



私は結婚を機に入職しました。病棟が病期で分れているため、初めて看護する疾患が多いですが、先輩方がわかりやすく説明して確認して下さるので日々勉強になり、安心して働いています。また、スタッフ間協力して業務を行っているため残業が少なく仕事と家庭を両立できています。（H28年4月入職 看護師）



4月に入職し、中材・手術室で勤務しています。新人の頃に数年、手術室経験はありますが病棟勤務が長かったのですっかり忘れており改めて勉強中です。入職し半年以上たった今でもどの科の手術も緊張しますが、プリセプターさんをはじめ上司、スタッフ誰にでも相談しやすく、初めての手術介助や慣れない業務など特にフォローして頂き、安心して働くことができます。また楽しい方が多く、何気ない会話で大笑いさせてもらっています。手術は患者様、ご家族にとってとても不安の大きい出来事です。手術室スタッフは患者様と関わる時間は短いですが、短い時間の中でも患者様の思いに寄り添い、少しでも安心して手術を受けて頂けるよう笑顔で頑張りたいと思います。（28年4月入職 看護師）

スタッフのみなさん笑顔で親しみやすく、院内に託児所もあるため子供がいても安心して無理なく働かせてもらっています。（H28年10月入職 看護師）



これからも
三木山陽病院で
一緒に
頑張りましょう!!

みなさん親切で笑顔が印象的でした。先輩方に指導を仰ぎながら基本を身につけ患者様に笑顔を届けていきたいと思っています。（H28年5月入職 外来クラーク）

3階病棟 敬老会

9月13日3階デイルームで敬老会を行いました。スマイル保育園の子供たちの歌とプアプアさんとレアレアさんによるフラダンスの披露がありました。



3階病棟 クリスマス会

12月20日3階デイルームにてクリスマス会を行いました。スマイル保育園の可愛い子供達によるオープニングから始まり、プロで活躍中の歌手 岡田央（おかだひさし）様率いるボランティアの皆様による歌謡ショーがひらかれ、懐かしい曲に涙し、楽しい曲に手拍子・かけ声とにぎやかなクリスマス会となりました。



クリスマス コンサート



12月3日1階ロビーにてクリスマスコンサートを開催いたしました。約100人の観客にお集まりいただき、ダイヤモンドベンチャーズさんによる生バンド演奏、さんちゃんさんの力強い歌声、TETSUYA&YUKOさんによる素敵なハーモニーに観客の皆様も私たち職員も大いに盛り上がりました。最後に「きよしこの夜」を皆様と一緒に合唱してクリスマス気分を味わうことができ、楽しいひと時を過ごせました。



インフルエンザ について

インフルエンザの症状は咳、喉の痛み、発熱が主な症状ですが関節痛や全身倦怠感などを伴う場合があります。インフルエンザウイルスは発症してから24時間で最も多く増殖し5～10日間は持続します。24～48時間以内であれば初期症状に有効な抗ウイルス剤があります。インフルエンザにかからないためには ①外出からの帰宅時以外でもこまめに手洗い、うがいをおこないましょう ②十分な睡眠とバランスの良い食事をするようこころがけましょう ③室内では加湿器などを使い湿度50～60%に保ちましょう ④人ごみを避け外出を控えましょう。感染してしまったら他人にうつさない為①「咳エチケット」としてマスクをつけましょう ②鼻水などを拭いたティッシュはふた付きのゴミ箱に捨てましょう ③手洗いをを行い周囲にウイルスを付着させない事が大切です。

アクセス MAP



医療法人社団 朋優会

三木山陽病院



〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

URL <http://www.mikisanyo-hp.com>

E-mail info@mikisanyo-hp.com